国立大学法人富山大学特別研究員取扱規則

令和5年7月25日制定

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学学則第21条第2項の規定に基づき、教育職員のうち特別研究員に関し、必要な事項を定める。

(定義)

第2条 特別研究員とは、独立行政法人日本学術振興会（以下「学振」という。）の特別研究員のうち、国立大学法人富山大学（以下「本学」という。）で雇用する者をいう。なお、職名は、特別研究員の後ろに学振における身分である日本学術振興会特別研究員-PD、日本学術振興会特別研究員-RPD 又は日本学術振興会特別研究員-CPD を括弧書きで併記することができる。

(所属)

第3条 特別研究員は、第6条の選考を行う学系に所属する。

(研究への従事)

第4条 特別研究員は、専ら研究に従事するものとする。

(雇用期間)

第5条 特別研究員の雇用期間は、学振が定める採用期間とする。

(選考)

第6条 特別研究員を雇用する場合は、雇用を希望する学系で選考を行い、学系長が別紙様式を学長に提出の上、学長が学振への申請の可否を決定する。

2 前項の申請により、学振から特別研究員の採用決定の通知があった場合、学長は学術研究部会議に報告するものとする。

(科学研究費助成事業への応募資格)

第7条 特別研究員が、特別研究員奨励費以外の科学研究費助成事業による研究費を受給すること、又は当該事業による助成を受けた研究者から研究費の配分を受けることを希望する場合は、学振が重複応募を認める当該事業に応募することができるものとする。

(採用の取消し)

第8条 学長は、特別研究員が学振の採用決定を取り消され、又は資格を喪失した場合は、雇用を取り消すものとする。

(学系会議等への参加)

第9条 特別研究員は、学系会議、教授会及び各種委員会等の構成員として大学運営には加わらないものとする。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、特別研究員に関して必要な事項は、学長が別に定めるものとする。

附 則

- 1 この規則は、令和5年7月25日から施行する
- 2 第6条に関わらず、令和5年4月1日から9月30日までに学振に採用され、本学で受け入れた独立行政法人日本学術振興会特別研究員が、本学での雇用を希望する場合は、令和5年10月1日付けで雇用する。

別紙様式

日本学術振興会特別研究員事業申請依頼書

年 月 日

富山大学長 殿

〇〇学系長 〇〇 〇〇

本学系において下記のとおり特別研究員を雇用したく、日本学術振興会への申請を依頼します。

ふりがな 氏			
生 年 月 日	年 月 日	年齢	歳
現 在 の 身 分			
最 終 学 歴			
学位取得（見込）	年 月 博士（ ）（見込）		
採用予定期間	年 月 ～ 年 月		
特別研究員の区分	PD ・ RPD ・ CPD		
研 究 課 題			
責 任 教 員 の 所 属 ・ 氏 名			
学 系 会 議 の 承 認 年 月 日	年 月 日 〇〇会議承認		